



2023年7月期 第1四半期 決算補足説明資料

2022年12月14日

VALUENEX株式会社

東証グロース：証券コード4422

VALUENEX

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の活動制限が緩和され、景気回復が期待される一方、急激な円安による為替相場の変動やロシアのウクライナ侵攻に起因した資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状態が継続しております。

当社はビッグデータ俯瞰解析により、顧客企業の業績回復に貢献することを通じ、世界の為に役に立ちたいと考えております。

項目

1

2023年7月期第1四半期業績報告

2

2023年7月期連結業績予想

3

事業概要

2023年7月期 第1四半期まとめ

1

売上・営業利益ともに前年を上回りました。経常利益・最終利益では前年を若干下回りました。

- ・売上高 : 129百万円 (前年比+14百万円、+12.9%)
- ・営業利益 : ▲23百万円 (前年比+10百万円)
- ・経常利益 : ▲24百万円 (前年比 ▲2百万円)
- ・最終利益 : ▲24百万円 (前年比 ▲2百万円)

2

ASP売上が堅調に積み上がり、売上全体では対前年を上回りました。

- ・コンサルティング売上 : 42百万円 (前年比 ▲7.6%)
- ・ASP売上 : 84百万円 (前年比+29.0%)

3

コスト（売上原価+販管費） : 152百万円（前年比+3.0%）

- ・ほぼ前年並みとなりました。

2023年7月期 第1四半期 連結業績概要

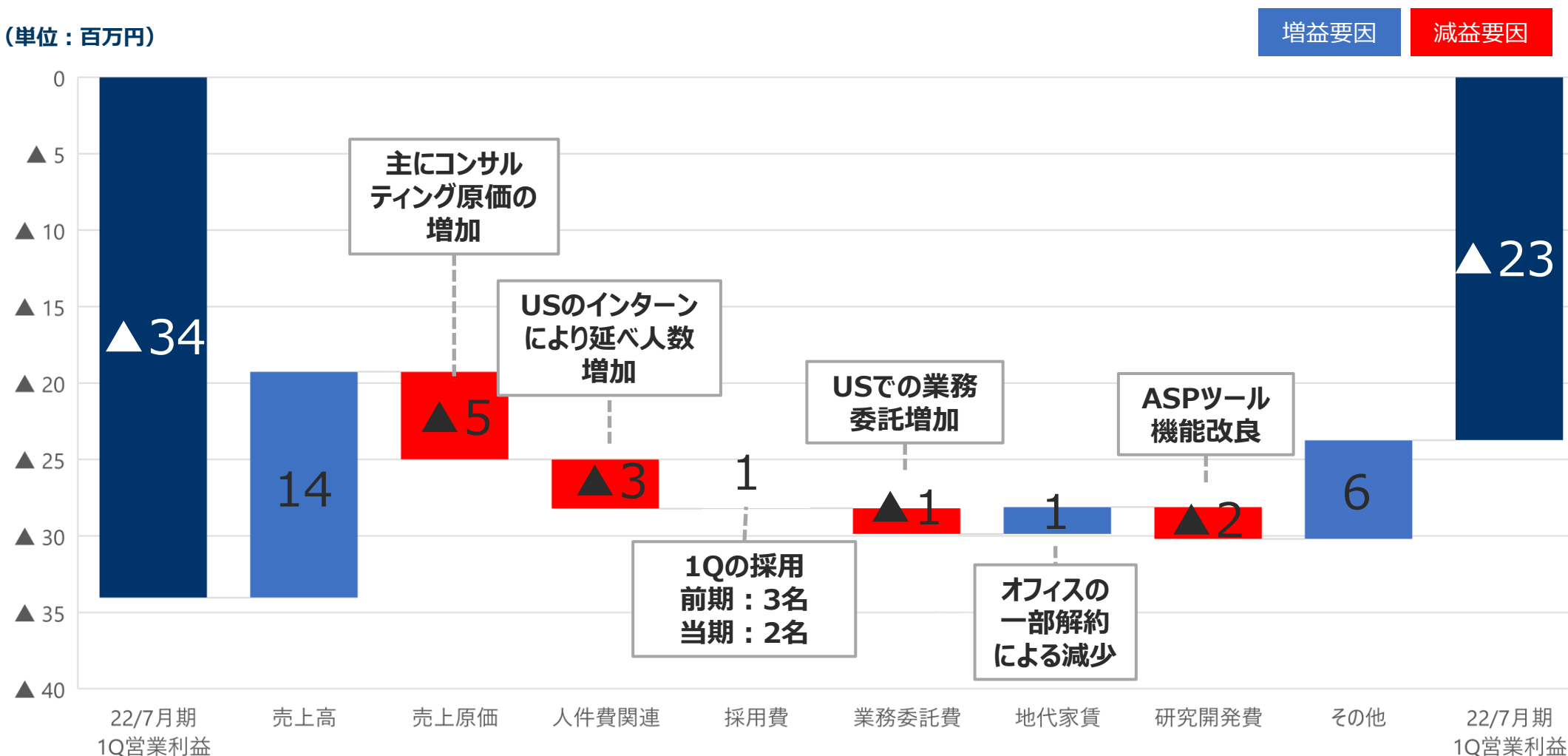
国内売上の増加により、売上高・営業利益においては前年を上回る結果となりました。

(単位：百万円)	22/7月期 1Q実績	23/7月期 1Q実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	114	129	14	+12.9%
売上総利益	90	99	9	+10.0%
販管費	124	123	▲ 1	▲ 1.0%
営業利益	▲ 34	▲ 23	10	-
経常利益	▲ 21	▲ 24	▲ 2	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 21	▲ 24	▲ 2	-

2023年7月期 1Q累計連結営業利益増減要因

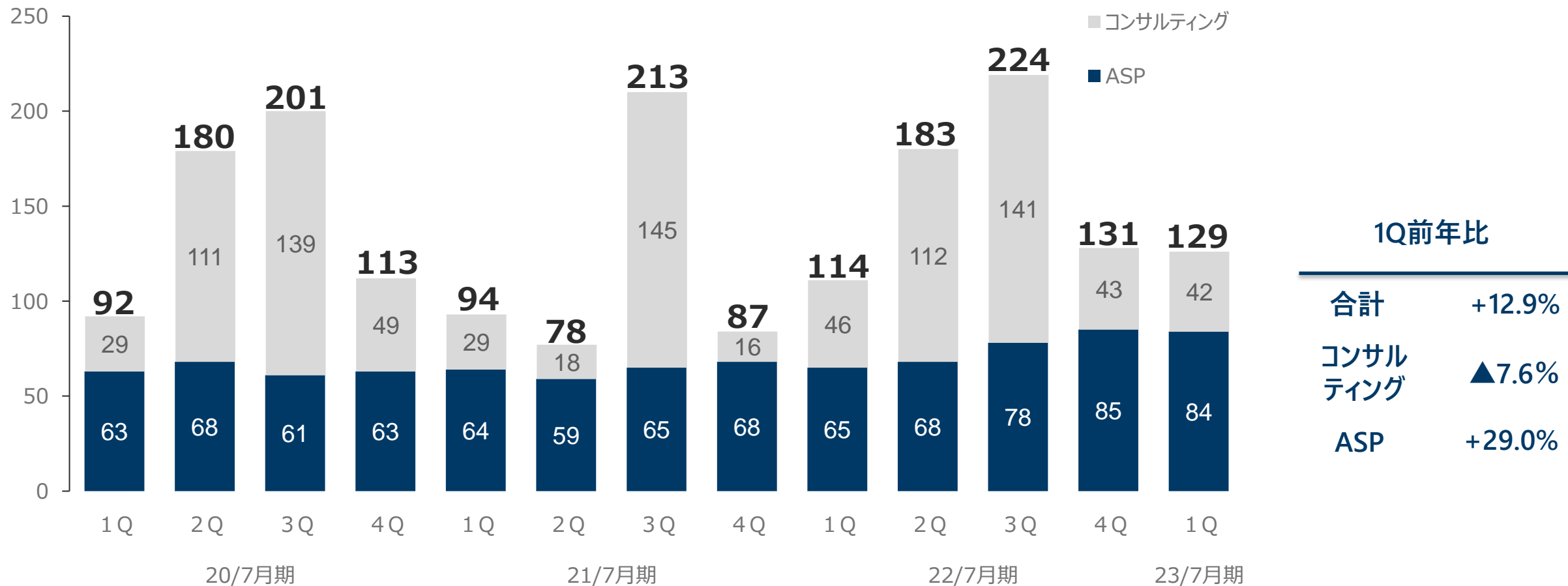
コストは前年並みでしたが、売上増加により営業利益における赤字幅は縮小しました。

(単位：百万円)



連結売上高の推移（サービス別）

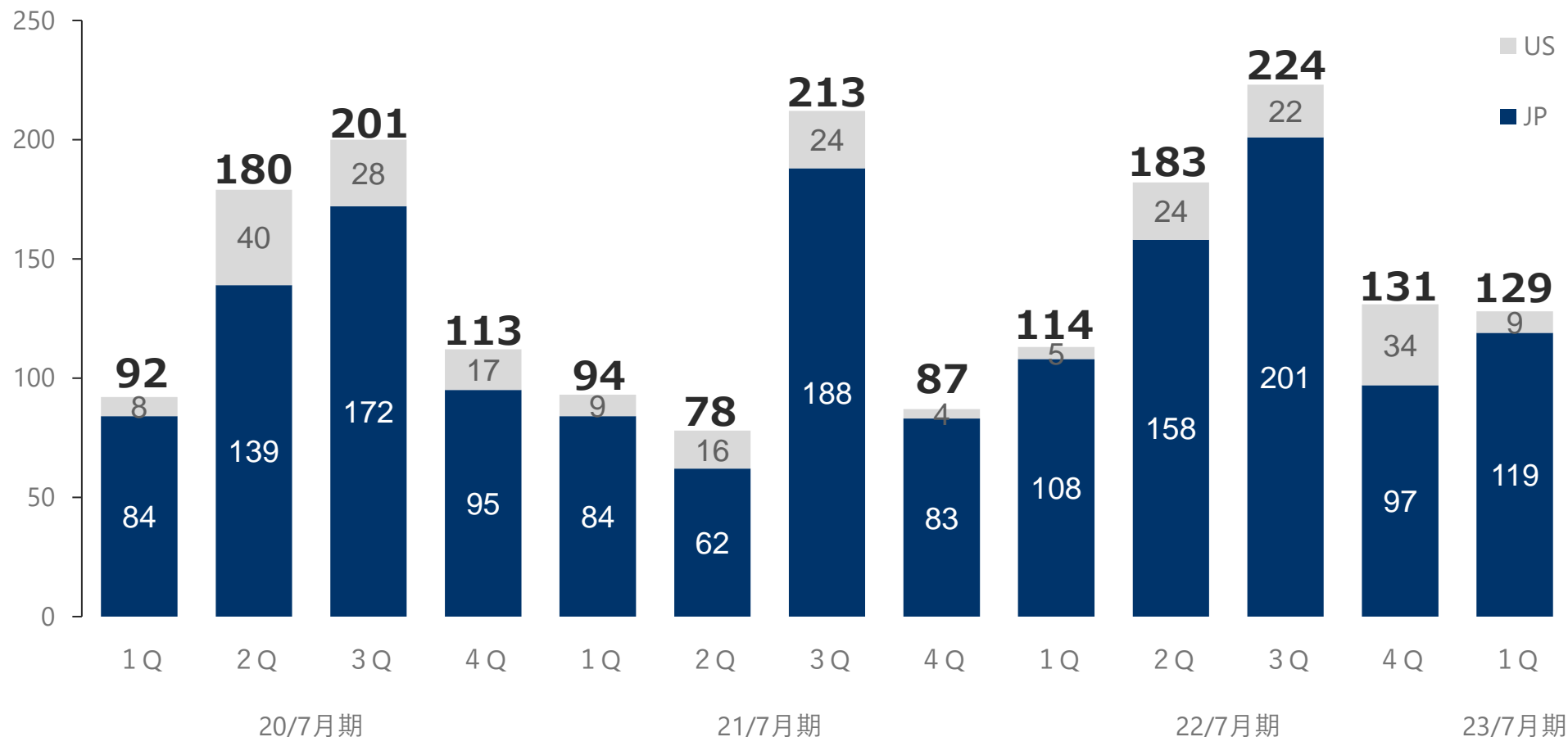
コンサルティングで前年同期を下回ったものの、ASP・売上合計で前年同期・過年度同期を上回りました。



※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

連結売上高の推移（地域別）

USは、前年同期を上回りました。JPは、前年同期・過年度同期を上回りました。

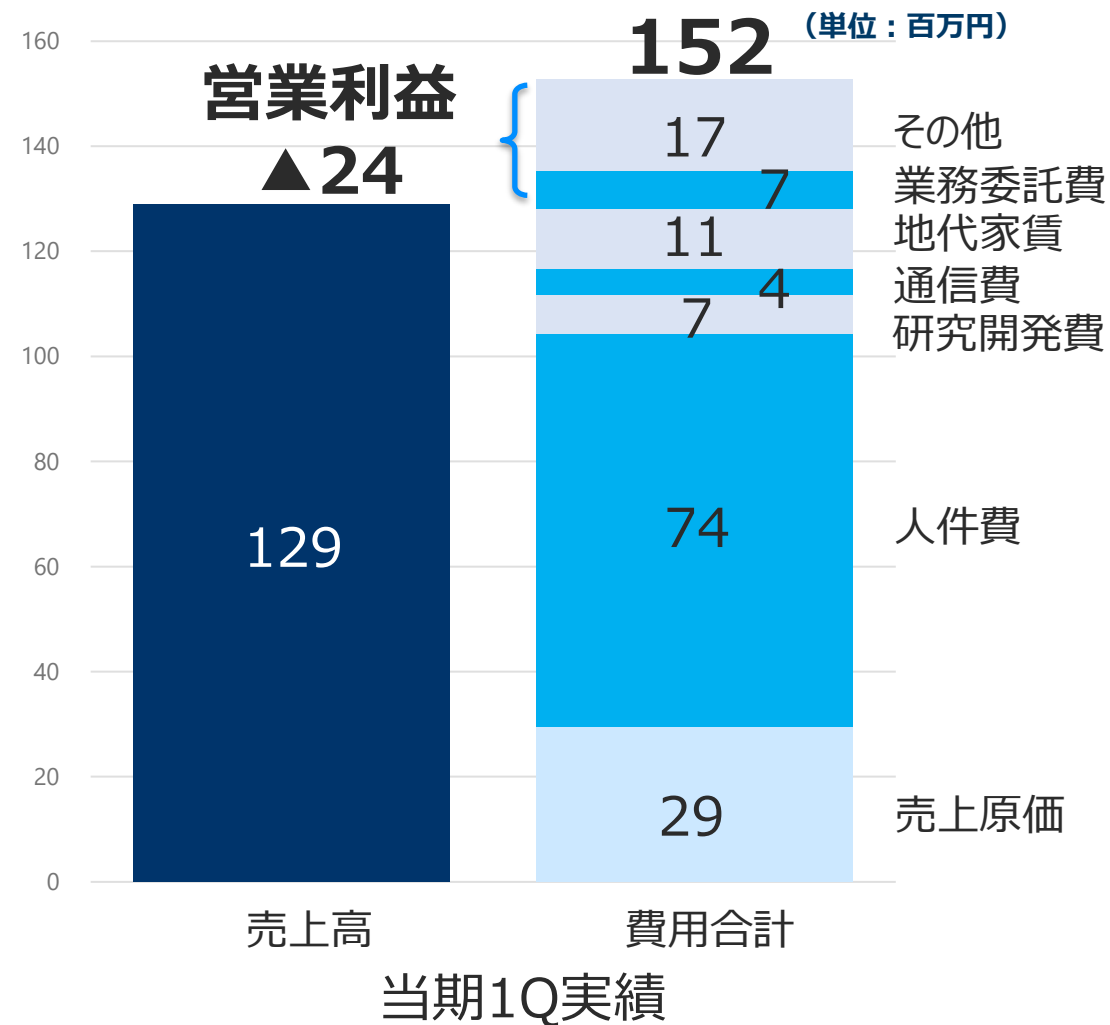
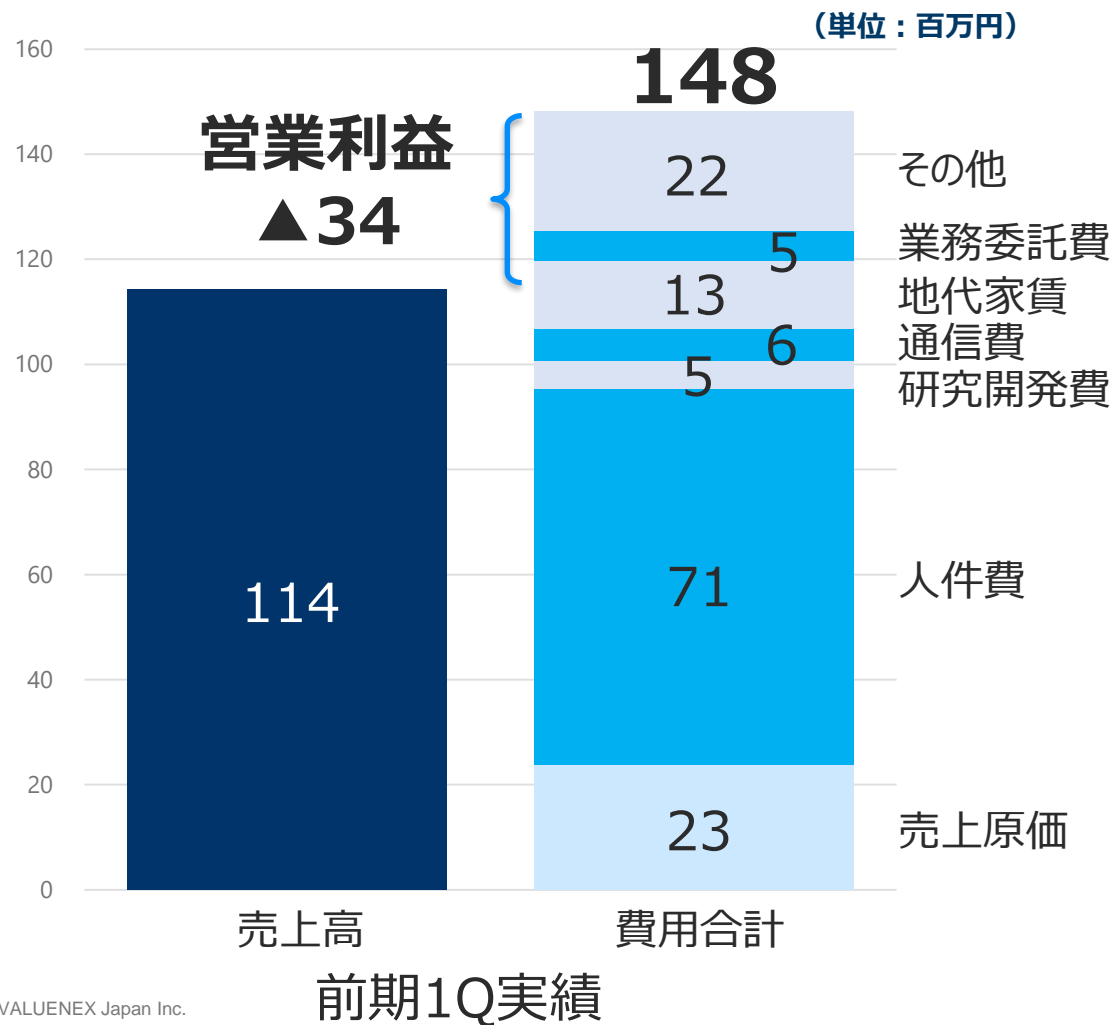


1Q前年比	
連結	+12.9%
US	+74.6%
JP	+9.8%

2023年7月期 第1四半期 連結営業費用の内訳

人件費の増加：主にUSでのインターンにより延べ人数が増えたことによる増加です。

業務委託費の増加：主にUSでの業務委託の増加です。



VALUENEX, Inc. (米国) 第1四半期主な活動状況

営業活動

- 日系大手のグローバルタスクフォース部署より受注した、シリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型パッケージプランを納品しました。本プロジェクトにて顧客のイノベーション活動期間を大幅に短縮できたこと、お客様の中でできなかったことが可能となったことで好評いただきました。
- シリコンバレーのお客様と共同で新規事業開発を目指すCo-creation projectを受注しました。
- シリコンバレーのお客様から新しいデータセットの案件を受注しました。
- 米国の大手メディア企業とのコラボレーションを協議中です。
- 米国の大手製薬企業とデモケースを作成し、営業中です。

マーケティング

- インサイト・カフェのMeetup & Happy hourイベントで“脳科学、核融合、東アジア安全保障”をテーマにスタンフォード大学講師他有識者を招待して開催。新しいお客様へのアプローチの機会を増やしています。
- シリコンバレーで12月に行われる量子コンピュータのカンファレンス (Q2B Silicon Valley 2022)にスピーカーとして呼ばれ、量子コンピュータのランドスケープを米国のお客様向けに披露する予定です。

開発

- スタートアップ簡易可視化ツールであるスタートアップ・ファインダーのさらなる機能向上に向けて引き続き改良中です。
- ホームページ改良に向けて準備中です。

採用

- 10月にスタンフォード大学で行われたキャリアフォーラムに参加しました。100名以上の学生から応募があり選考を行なっています。

第1四半期の取り組み・記事掲載

■「特許調査へのA I 導入と業務効率化および特許情報の有効活用方法」が販売

2022年9月発刊の書籍「特許調査へのA I 導入と業務効率化および特許情報の有効活用方法」にて、第3章第8節「俯瞰図を用いた技術動向分析とその活用方法」を弊社CEO中村が執筆しました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/books-johokiko20220830>

■ WebinarABCセンターのオンラインセミナーに登壇

WebinarABCセンターのオンラインセミナー「知財戦略とスタートアップAOS 2022 October」に弊社CEO中村に登壇しました。本セミナーでは弊社の俯瞰解析アプローチを通じた知財情報の活用例を説明するとともに、日本のスタートアップ企業が世界で躍動するための条件について中村の実体験から紹介しております。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/20221021abcwebinar>

第1四半期(8~10月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

	内容	URL
メディア 掲載	2022年10月19日 旭化成株式会社の知財戦略等に関する資料に、弊社ツールを利用した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/asahikasei210921-cb4mh
	2022年10月25日 資生堂ジャパン株式会社、顔形状3D解析Webコンテンツの発表にて弊社の俯瞰解析を活用と掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20221025shiseido3dface
セミナー 登壇	2022年10月21日 弊社CEO中村がWebinarABCセンターのオンラインセミナーに登壇	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20221021abcwebinar

開発の状況

1. US市場に浸透するためのMac版ツールの提供 (+ Windows版ツールの改良)
2. ベンチャー企業分析ツール(Startup Finder)の開発・精度向上策の実施
3. 分析結果をより簡単にご利用頂くためのレポート機能の継続開発
4. 類似度評価の精度向上のための自然言語処理の改善
5. その他VALUENEX Radarの機能改善・開発強化

項目

1

2023年7月期第1四半期業績報告

2

2023年7月期連結業績予想

3

事業概要

2023年7月期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念、ウクライナ侵攻の長期化、急激な円安などの為替変動リスク等、当社グループの業績に与える影響が依然として不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。

以上の状況から、今期（2023年7月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただき、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

項目

1

2023年7月期第1四半期業績報告

2

2023年7月期連結業績予想

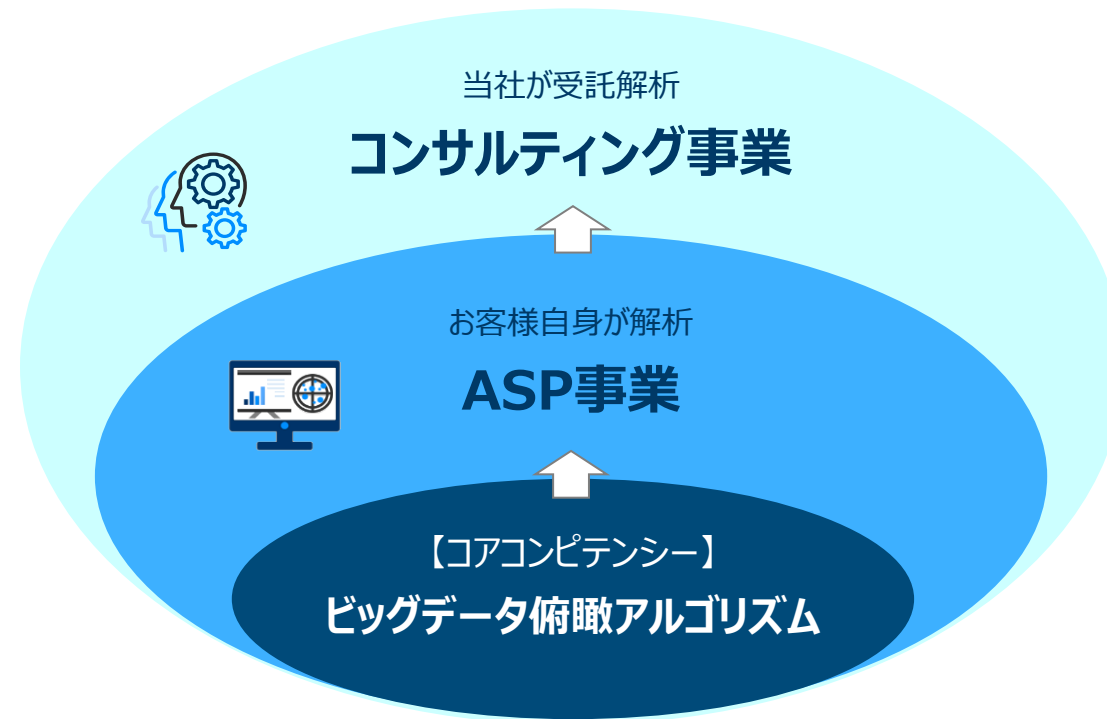
3

事業概要

当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

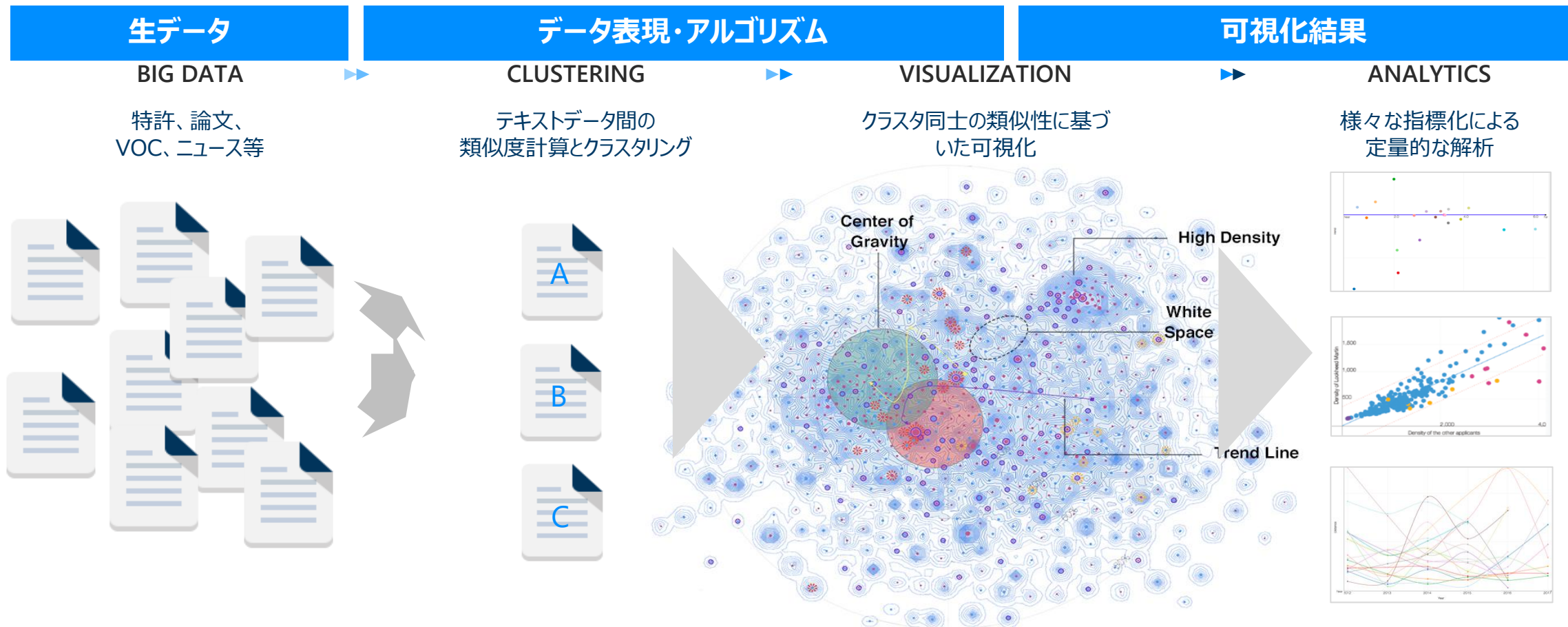
- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。

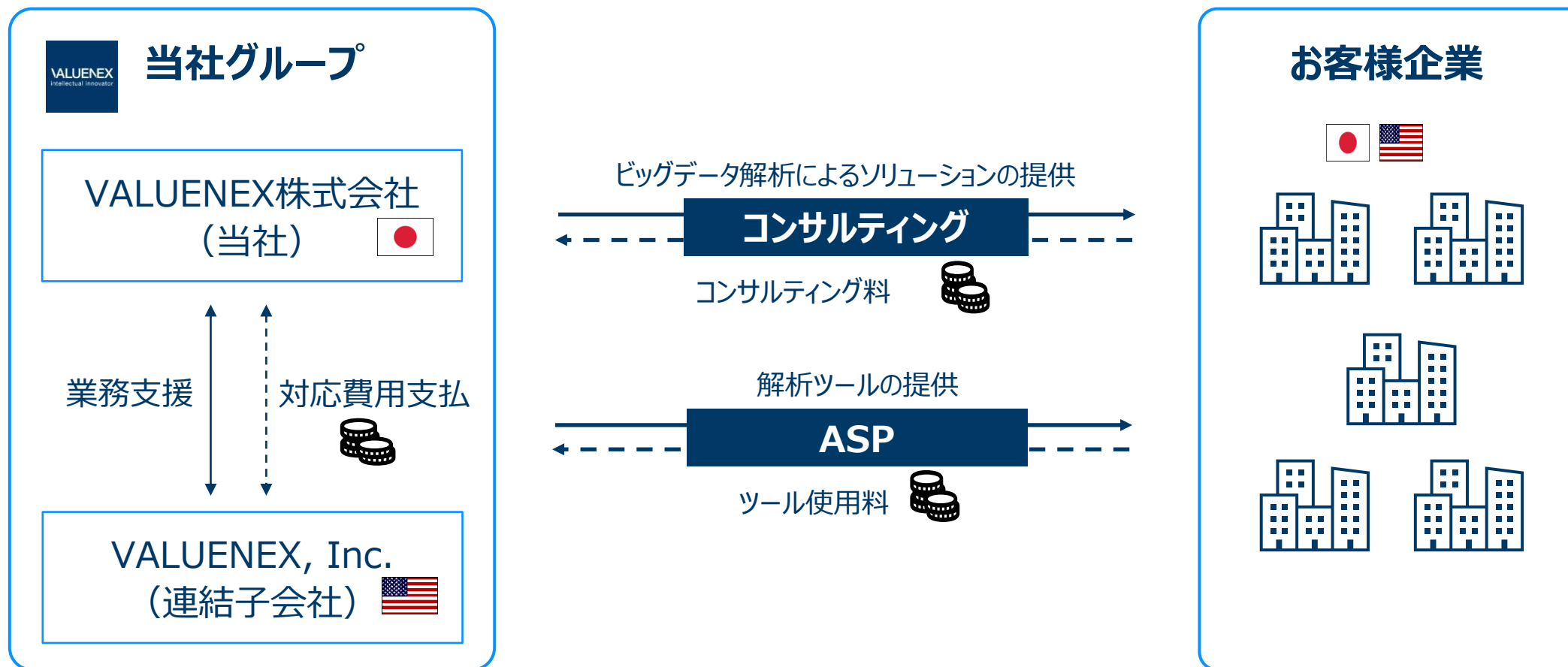


VALUENEX サービスアウトライン

サービス		概要	解析対象テキストデータ
コンサルティング		<ul style="list-style-type: none"> ご要望に応じてVALUENEXが調査・分析を実施。弊社コンサルタントが弊社のSaaSを活用し、お客様とともに課題解決を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象データはご相談の上決定 ・特許 ・論文 ・その他文献
VALUENEX Radar (SaaS)		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる情報源から技術動向分析、新規事業創出、市場ニーズ把握など様々なビジネス戦略に活かせるデータ解析ツールです。 ・非特許文献（論文、アンケート、VOCなど） ・特許文献問わず、多種多様なテキストデータを解析 ・高速1,000件～最大10万件の文献を読み込み可能 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる文献 ・特許 ・論文 ・ニュース、SNS ・新聞、雑誌 ・アンケートなど ・貴社内各種データ ・スタートアップデータ ・その他テキストデータ <p>※特許DBはオプション販売有</p>
VALUENEX Radar サポートサービス	伴走サービス	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX導入後の活用にご不安をお持ちの方、また初めて俯瞰解析に携わる方に、お困りの点について伴走をさせていただきます。 ・部門、ご自身の俯瞰解析スキルを向上させたいという方 ・一定レベルの俯瞰解析スキルを身につけたいという方 	
	コーチング	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX Radarご利用のお客様向けのアシストサービス お客様とともにトータルで俯瞰解析のコーチングを実施させていただきます。 ・より付加価値のある解析を行いたい、特定のテーマに関する解析を全面的にサポート ・解析観点や方法の設定、まとめ方等に不安がある方 ・DX人材、データサイエンティスト育成を検討されている方 	
カスタム開発 (協業による新規事業開発)		<ul style="list-style-type: none"> お客様が提供するサービスへ俯瞰解析機能を付加、または新しく解析ツールを開発する等、新規事業を共同開発します。 例) Stand Aloneサービス、API提供 	<ul style="list-style-type: none"> ご相談

事業モデル

当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	532百万円（2022年10月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結27名、単体24名（2022年10月31日時点） ※役員除く		
役員	中村 達生	: 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）	
	鮫島 正明	: 専務取締役 CFO / MBA	
	本多 克也	: 常務取締役 先進情報学研究所長 / 博士（工学）	
	片桐 広貴	: 取締役 CTO / 工学修士	
	瀧口 匡	: 取締役 経営企画担当 / 博士(国際経営)	
	鈴木 理晶	: 社外取締役 / 弁護士	
	松田 均	: 社外常勤監査役 / 公認内部監査人	
	花堂 靖仁	: 社外監査役 / 大学名誉教授	
	宮内 宏	: 社外監査役 / 弁護士	

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

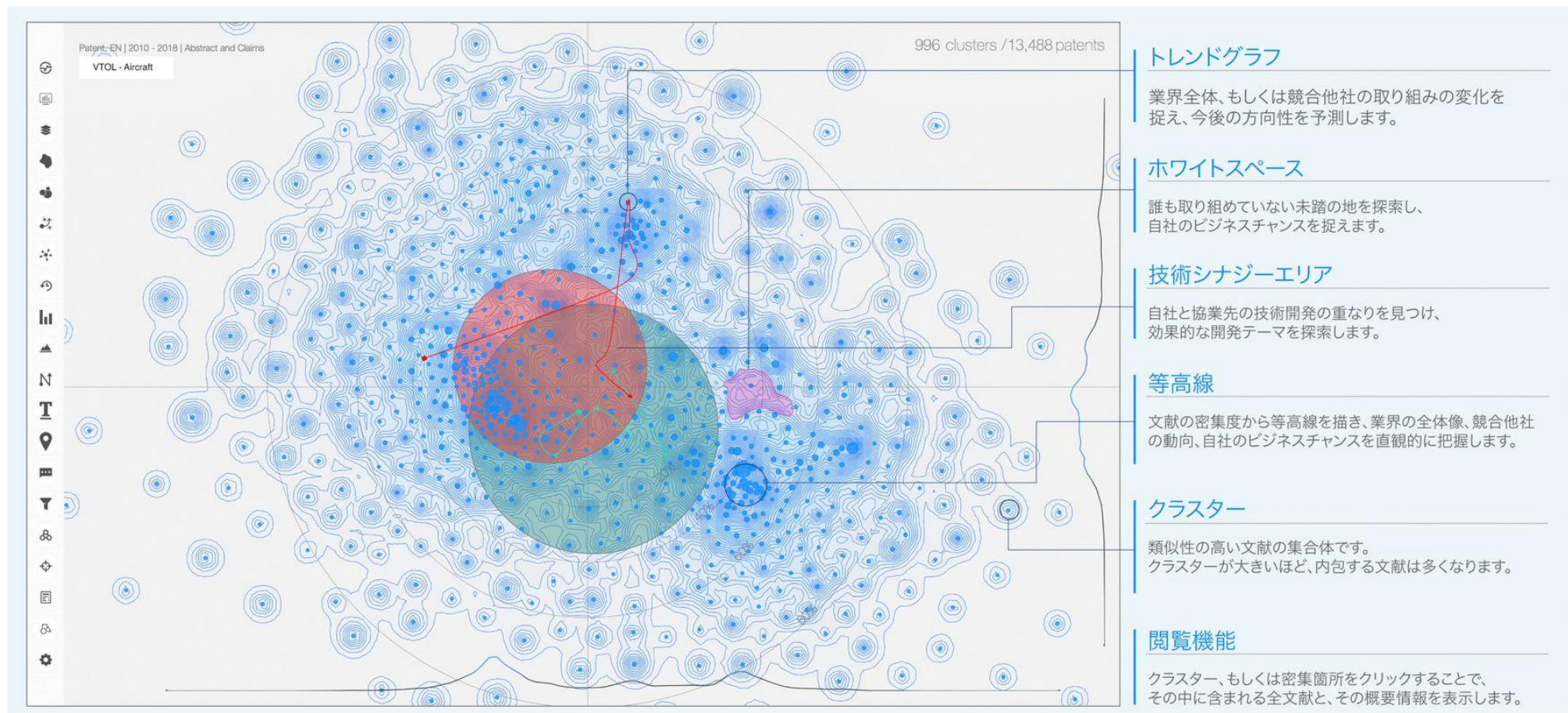
Vision

- **我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です**
- **我々は、世界に認知される企業を目指します**
- **我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します**
- **我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します**

当社ASPの検索・可視化イメージ

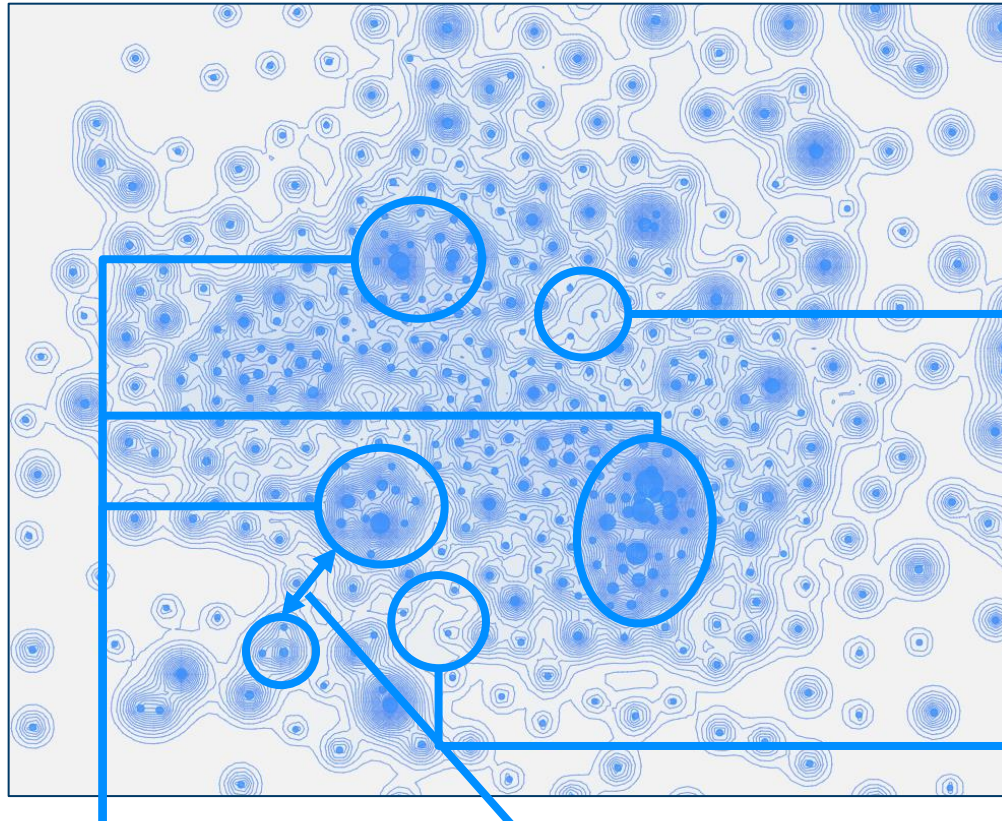
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

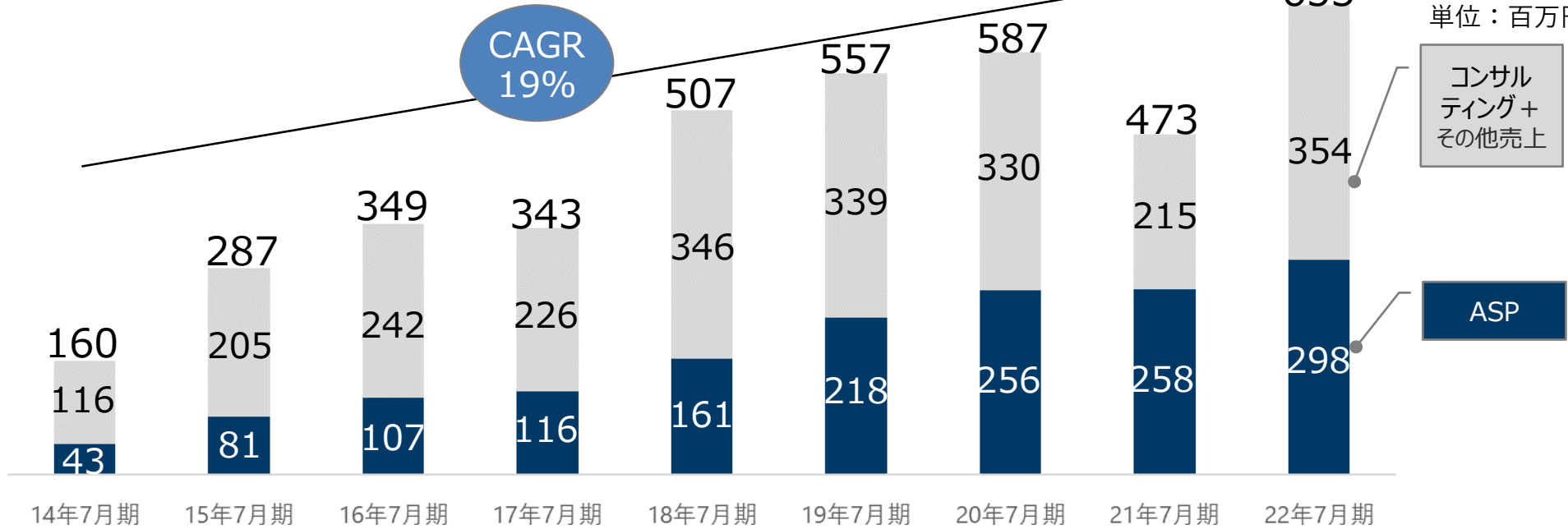
クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース

= 内容の関連性が高い

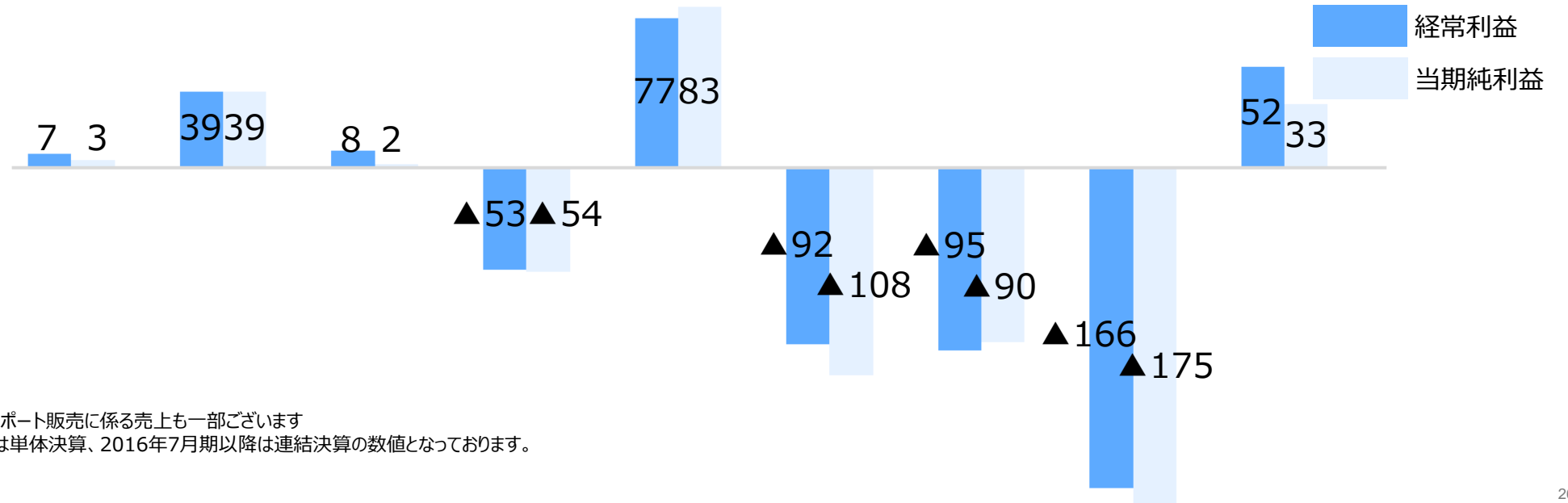
業績推移

単位：百万円

売上高注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com